

第2節 資本主義の発展と剰余価値の増大

(1) 絶対的剰余価値の生産

① 絶対的剰余価値の概念

(a) 必要労働時間の長さ

必要労働時間の長さ ← _____ 商品の価値 = 労働者の社会的平均的な必要生活手段の価値

必要生活手段の量 = ある社会・時代で _____

生活手段の価値 = 生産力不変なら _____

⇒ 必要労働時間：ある社会・時代・所与の生産力水準のもとである与えられた量

では、剰余労働時間の長さは？

(b) 剰余労働時間の長さ

労働日 = 1日の労働時間 _____ → 剰余労働時間 _____

資本家は労働力商品の1日分の価値を支払い済 = 労働者を1日労働させる _____

資本の本性 = 最大限の価値増殖 ⇒ 労働日の可能な限りの _____ の要求

労働者の労働力には肉体的・社会的な限界

限界を超える労働 → 労働力の維持・再生産の _____

労働者は労働力の正常な再生産を保障する正常な労働日を要求する権利

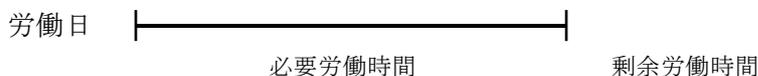
* 資本家も労働者も商品 _____ の原則にもとづく同等の権利を保有

同等の権利を有する者どうしの間で利害が _____ ⇒ 労働日はどの長さに決まるか？

両者の力関係 = 資本家階級と労働者階級との間の _____ によって決まる

⇒ 剰余労働時間：資本の価値増殖欲と労働者の力関係によって決まる _____ 的な量

絶対的剰余価値：労働日を _____ 労働時間を超えて延長することによって得られる剰余価値



労働者にとって、労働日の延長は労働 _____ の増大を意味する。

労働の強化は労働日が一定であっても労働 _____ の増大をとる

∴ 労働の強化による剰余価値の増大は絶対的剰余価値の増大に含まれる

② 労働日の決定

(a) 資本家と労働者の力関係

剰余労働時間の増大のために資本家(階級)が労働者(階級)との力関係において優位となる方法

{ _____による強制的な労働日の延長
資本の生産力の増大⇒資本の労働支配の_____

(b) 労働日をめぐる闘争

第1段階

マニファクチュア時代：生産力の基礎＝労働者の手工業的_____

⇒力関係は_____側に有利

資本家側は剰余労働確保のために_____による強制を必要とする。

例：14世紀半ば～17世紀末までの労働取締法令

＝労賃の_____限度と労働時間の_____限度を規定

⇔18世紀半ばでも12時間労働の強制は困難

第2段階

18世紀後半からの産業革命⇒生産力の基礎＝_____大工業

⇒従来の手工業的熟練の解体，労働の単純化・不熟練化，女性や子供も労働力化

力関係は資本の側が圧倒的に優位となり，資本による労働_____が決定的となる

⇒長時間労働・労働強化・労働条件の悪化

⇔労働者が労働時間短縮と労働条件改善のために団結し，法律による労働日短縮を要求する闘争

*労働者階級の闘争が一定の成果を収めていく段階＝工場法・労働基準法等の制定

(c) 資本家側の譲歩の背景

1. 労働者階級の再生産の確保の必要性

過酷な労働条件⇒労働力の維持・再生産の_____

資本家階級にとって価値増殖の継続には労働者階級の_____が不可欠

But 個々の資本家には労働時間延長の欲求⇒_____による強制が不可欠

2. 労働日の延長以外の剰余価値の増大

生産力の上昇による必要労働時間の短縮⇒剰余労働時間の_____延長

(2) 相対的剰余価値の生産

① 相対的剰余価値の概念

(a) 生産力の発展・生産性の上昇

{ 一定量の労働の投入⇒より_____の生産物の生産
より_____労働量の投入⇒同量の生産物の生産

*より豊かな生活，より少ない労働，両方の実現＝人間の労働の超歴史的進歩

資本主義においては剰余価値増大のために生産力の向上を追及

⇒生産力の発展の成果は_____が獲得

=その利用の決定権も_____が握る

(b) 生産力の発展と剰余価値の増大

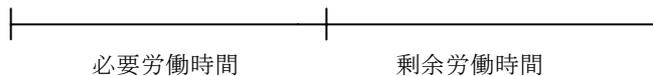
生産力の発展が

労働者の必要生活手段の生産部門, またはそのための生産手段の生産部門において実現すると

1. 労働者の必要生活手段の価値_____
2. 労働力商品の価値_____
3. 必要労働時間の_____
4. 剰余労働時間の_____延長

(c) 相対的剰余価値の定義

1日の労働時間・労働強度一定のもとで, 労働力商品の価値が_____することによって
必要労働時間が相対的に_____して生じる剰余価値



② 相対的剰余価値の特徴

1. 実質賃金_____
2. 労働支出量_____

→1・2により, 絶対的剰余価値の増大に比べて, 労働者の抵抗は_____

3. 剰余価値率の上昇に限界が_____

⇒剰余価値の源泉が労働の_____にあることが見えにくくなる

*相対的剰余価値の増大は資本主義により適合的な剰余価値増大の方法

ただし, 労働者は名目賃金(=労働者が受け取る貨幣賃金)の低下には抵抗感

生産力の発展→商品の大量化・多様化→労働者の欲望の増大・多様化を刺激

→労働者の賃金_____闘争を促進

労働力の価値の低下率____名目賃金の低下率 になったとすると⇒生活水準_____

その生活水準が社会的・平均的で恒常的なものになると

→労働力商品の価値の_____

③ 個別産業部門の生産力上昇との関係

資本家は相対的剰余価値を目的として活動するのだろうか?

労働力の再生産に関係する部門での生産力上昇→_____の資本家の取得する相対的剰余価値

労働力の再生産に関係する部門の資本家は、他の資本家のために生産力を上昇させる？

労働力の再生産に無関係な部門での生産力上昇

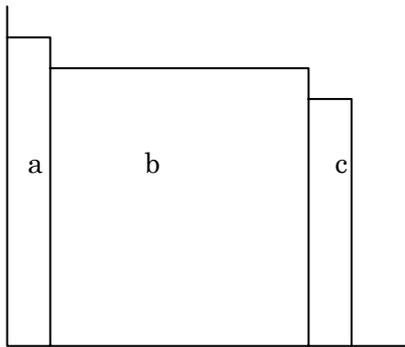
→労働力の価値は低下_____⇒相対的剰余価値は増大_____

これらの部門では生産力上昇は無意味？

個別資本家が生産力を上昇させる目的は？

(3) 特別剰余価値の発生と消滅のメカニズム

ある産業部門において、一部の資本家が新しい優秀な生産方法を導入して生産力を上昇させた場合



生産力を上昇させた資本家は_____を特別な剰余価値として獲得できる！

① 特別剰余価値の概念

個別資本家が生産力を上昇させると・・・

→生産物1単位当たりの「個別的価値」の_____

→「社会的価値」(個別的価値の加重平均)による_____

⇒差額を特別剰余価値として獲得

定義：ある商品の「社会的価値」と、その商品を平均以上の_____生産方法によって生産した場合の「個別的価値」との差額

逆に、平均以下の生産方法で生産した場合には_____の特別剰余価値が発生する

*個別資本家を生産力_____に駆り立てる動機=特別剰余価値の獲得

② 特別剰余価値の発生

20kgの棉花(24時間)+減価償却(8時間)+紡績労働(8時間)=40時間分の労働が対象化

20kgの綿糸の価値(「社会的価値」)=24,000円+8,000円+8,000円=40,000円

優秀な生産方法によって、同じ時間に2倍の綿糸が生産できるとすると

40kgの棉花(48時間)+減価償却(16時間)+紡績労働(8時間)=72時間分の労働が対象化

40kgの綿糸の価値(「個別的価値」)=48,000円+16,000円+8,000円=72,000円

40kg の綿糸の社会的価値 = _____ 円で販売
 _____ 円 - _____ 円 = _____ 円 (= 特別剰余価値)

この資本家の生産物価値の内訳は

$C = 48000 \text{ 円} + 16000 \text{ 円} = 64,000 \text{ 円}$

$V + M = \text{_____ 円} + \text{_____ 円} = \text{_____ 円}$

労働者は同じ 8 時間に _____ 円分の価値を生産

労働時間の内訳は

労働力商品の価値と等しい価値の生産 = _____ 時間

剰余価値の生産 = _____ 時間

⇒ 必要労働時間の _____ 効果

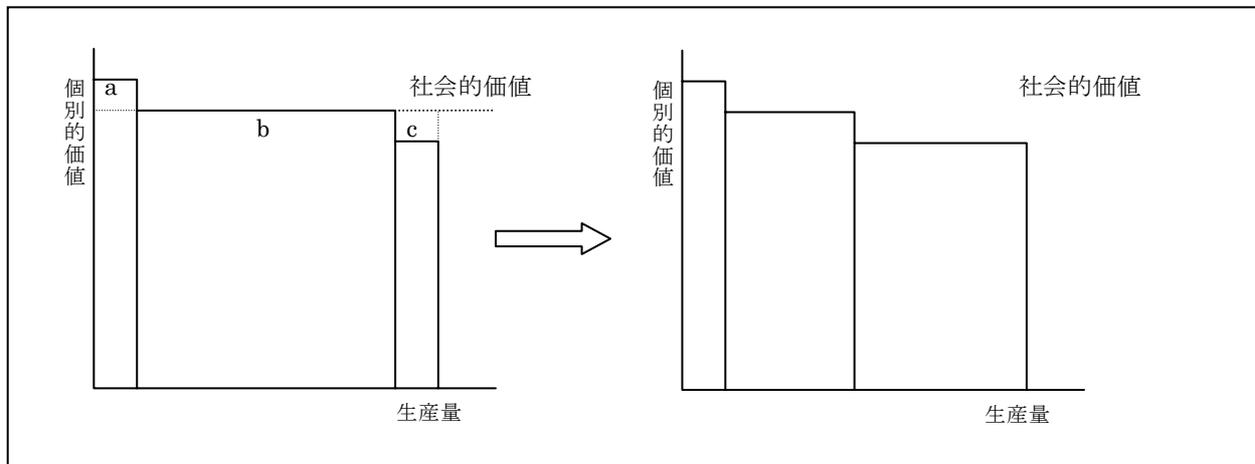
③ 新生産方法の導入競争(第 1 局面)

[優秀な新生産方法の導入 → 特別剰余価値の獲得]

⇒ 新生産方法の _____ 的導入競争 = 新生産方法導入競争の第 1 局面

⇒ 新生産方法の普及

新生産方法の普及は何をもたらすか?



→ 社会的価値の低下

= 特別剰余価値の _____ (_____ 導入の促進)

→ 旧生産方法の個別的価値 _____ 社会的価値

⇒ 差額の負の特別剰余価値の _____

④ 新生産方法の導入競争(第 2 局面)

旧生産方法の資本にとって

負の特別剰余価値の増大 → _____ の増大

⇒損失・倒産回避のための新生産方法の導入

=競争の_____作用による新生産方法の導入=新生産方法導入競争の第2局面

新生産方法を導入できない劣弱な資本⇒_____または他の資本に吸収・合併

新生産方法の普及の完了

⇒特別剰余価値の_____

⇒特別剰余価値を求めて新生産方法の_____

このプロセスの繰り返し

*資本主義における_____の飛躍的發展メカニズム

⑤ 特別剰余価値と相対的剰余価値の関係

特別剰余価値の発生と消滅の過程=資本の価値増殖欲と_____に媒介された過程

⇒この産業部門で生産される商品の価値_____

この産業部門が労働力の再生産に直接・間接に必要な商品の生産部門である場合

⇒労働力商品の価値_____

⇒必要労働時間の_____

⇒社会全体の相対的剰余価値の_____